

5 施策の方向

✚ (1)したしむ 《身近で気軽に文化・芸術に親しみ、ふれあえる大分市》

市民が、身近な場所で文化・芸術に親しみふれあうことのできる環境づくりは、文化・芸術の振興のための最も重要な要素の一つです。

① 公共施設の利便性の向上

市民の活動や発表の場となるホール、地区公民館、体験学習施設、スポーツ施設など公共施設の適切な運営と維持管理に努めながら、年齢や性別、障がいの有無等を問わず、すべての市民が利用しやすく立ち寄りやすい施設づくりを進め、市民主体の活動の活性化を促進します。

＜主な施策・事業＞（資料6 6ページ参照）

★公共施設の適切な運営と維持管理

- ◇指定管理施設におけるモニタリングの適正な実施
- ◇計画的な維持補修

★市民が利用しやすく立ち寄りやすい施設づくり

- ◇公共施設案内・予約システムの適切な運用
- ◇図書館ネットワークの適切な運用とPR
- ◇施設のイベント等の情報収集と発信の仕組みづくり

② 文化・芸術関連イベント等の充実

多くの市民が参加、鑑賞できる文化・芸術関連イベント等の充実を図ります。

このため、街に音楽が溢れ、道行く人が心和むような「音楽のまち大分」の実現をめざす「おおいた夢色音楽プロジェクト」を推進します。

また、「大分七夕まつり」や「大分生活文化展」をはじめとする本市や地域を代表する大規模なイベント等の開催や新規イベントの立ち上げに取り組むとともに、市民主体の多彩な活動や公民館等を拠点に展開される地域の活動を支援します。

ホルトホール大分、コンパルホール、平和市民公園能楽堂、アートプラザなど指定

管理者制度により運営する施設では、民間ノウハウを十分に活かした質の高い文化・芸術の鑑賞機会を提供します。

大分市美術館では、展覧会等の充実を図るとともに、ワークショップやアウトリーチなどに取り組みます。

さらに、スポーツをする、スポーツを観る、スポーツを支える機会の提供に努め、生涯スポーツや競技スポーツの振興を図るとともに、ホームタウン推進事業を推進します。

＜主な施策・事業＞（資料66～67ページ参照）

★文化・芸術関連イベント等の充実

- ◇おおいた夢色音楽プロジェクトの推進（おおいた夢色音楽祭、ふるさとコンサート、どこでもコンサート、いかした大人たちのバンドフェス）
- ◇大分七夕まつりなど大規模な祭り・イベントの開催
- ◇大分市民音楽祭の開催
- ◇大分市芸能まわり舞台の開催
- ◇陶芸祭の開催
- ◇アートを活かしたまちづくり「おおいたトイレンナーレ」事業の推進
- ◇地区公民館等の教室・講座、祭り・イベント等の開催
- ◇校区公民館が取り組むイベント等への事業費補助

★民間ノウハウを活用した文化・芸術の鑑賞機会の提供

- ◇指定管理者の自主事業の積極的な展開促進

★大分市美術館の展覧会等の充実

- ◇質の高い企画展、常設展の開催
- ◇大分市美術館出前講座の実施

★生涯スポーツ・競技スポーツの充実

- ◇大分市スポーツフェスタの開催
- ◇総合型地域スポーツクラブの創設促進
- ◇スポーツ少年団や競技団体等の活動の活発化の支援

★ホームタウン推進事業の推進

- ◇大分トリニータ・大分三好ヴァイセアドラー・バサジィ大分・大分ヒーロデビルズのホームゲームへの市民招待の実施
- ◇おおいたスポーツ広場の開催

③ 施設や団体との連携強化と情報発信

市民が文化・芸術に親しむ機会を広くお知らせするため、「iichiko 総合文化センター」や「豊の国情報ライブラリー」、2015年（平成27年）に開館予定の「大分県立美術館」をはじめとする県有施設、ギャラリーやライブハウス、企業の店舗などの民間施設、さらには「大分県芸術文化振興会議」や活動団体等との連携を強化し、情報収集と発信に努めます。

情報発信にあたっては、市報、大分市ホームページ、SNS^(※9)などを活用した仕組みづくりを進めます。

また、施設等と中心市街地の回遊性の創出をめざし、公演情報等の相互掲示や商店街等と連携したイベントの開催、公園等の街角空間の利用促進に努めます。

<主な施策・事業> (資料68ページ参照)

★県や民間施設、活動団体との連携強化

- ◇大分市美術館と県立美術館との連携
- ◇大分県芸術文化振興会議等との意見交換の場の設置

★情報収集と発信

- ◇施設や活動団体の情報収集と発信の仕組みづくり

★回遊性の創出

- ◇公共施設間の催し物情報の相互案内の仕組みづくり
- ◇商店街等と協働した文化・芸術関連イベントの開催
- ◇公園等の街角空間の利用促進

✚ (2)はぐくむ 《新たな文化・芸術が生まれ、発展できる大分市》

新しい文化・芸術やアーティスト、活動団体等が育ちやすい環境づくりは、都市の魅力と活力の創出に通じます。

① 寛容で好奇心にあふれる気運の醸成

多くの市民が、文化・芸術活動に取り組みたいと思えるように、あらゆる機会を通じ、その楽しさを伝える仕組みづくりを進めます。

学校教育においては、文化・芸術に関する学習機会の充実を図るとともに、地域、活動団体等、関連施設との連携を強化しながら、児童生徒への文化・芸術イベント情報の提供を積極的に行います。

また、地域においては、子どもからお年寄りまでのすべての市民が、文化・芸術に取り組む契機となるように、本格的な文化・芸術や地域に根ざした歴史遺産、伝統文化にふれる機会を提供するとともに、拠点となる公民館等の活動の充実を支援します。

＜主な施策・事業＞ (資料69ページ参照)

★文化・芸術やその活動の楽しさを伝える取組の充実

- ◇施設や活動団体の情報収集と発信の仕組みづくり
- ◇児童生徒への文化・芸術関連イベントの情報提供の仕組みづくり

★学校教育における文化・芸術活動の充実

- ◇大分市美術館や大分市歴史資料館などを活用した体験学習の充実
- ◇福田平八郎賞図画展・朝倉文夫賞彫塑展の実施
- ◇高山辰雄賞ジュニア美術展の実施
- ◇大友宗麟公に関する副読本による歴史教育の充実
- ◇伝統芸能ふれあい教室の開催
- ◇生き生き学習サポート事業の推進

★地域における文化・芸術活動の充実支援

- ◇大分市生涯学習指導者登録制度の充実
- ◇地域における文化・芸術関連イベント等の充実

② 文化・芸術活動の顕彰

文化・芸術活動の広がりをめざし、市民主体の多彩な活動や学校のクラブ活動など、文化・芸術の振興につながる事業や活動成果に対して、既存の市長表彰制度や後援制度等の積極的な運用とその結果についての情報発信を行うとともに、新たな顕彰制度の創設を検討します。

<主な施策・事業> (資料70ページ参照)

★文化・芸術の顕彰制度等の運用

- ◇市長表彰等の運用と表彰された人や事業の情報発信
- ◇名義後援の運用と後援事業の情報発信

★文化・芸術に関する新たな顕彰制度創設の検討

- ◇文化・芸術に関する新たな顕彰制度創設の検討

✚ (3) ささえる <市民主体の文化・芸術活動をみんなで支える大分市>

本市で展開される多彩な文化・芸術を市民みんなで支えていくことは、潤いとやさあるまちづくりの推進につながります。

① 活動団体等の支援

国内外を舞台に活躍する本市に縁のあるアーティストなどを支援するため、公演情



<鐵心太鼓公演>

報の収集と発信の仕組みづくりに取り組みます。

市内や地域で活動する団体等については、活動の場の情報提供、発表会や公演等の情報収集と発信、会員の募集等の情報発信、活動費の支援など、総合的な支援制度を構築します。

また、企業が取り組む文化・芸術活動への支援や、企業活動への文化・芸術資源の活用を促進することにより、地域経済の活性化をめざします。

こうした取組を効果的に推進するため、国等の文化行政の動向を注視しながら、他都市との連携を強化し、情報収集や情報交換に努めます。

<主な施策・事業> (資料71ページ参照)

★本市関連アーティストの活動支援

- ◇アーティストとのネットワークの構築
- ◇アーティストへの会場情報の提供
- ◇アーティストの公演開催等の情報収集と発信の仕組みづくり
- ◇ふるさとコンサートの開催

★市民主体の団体の活動支援

- ◇団体の活動状況の情報収集と発信の仕組みづくり
- ◇アマチュアステージ補助事業の推進
- ◇いかした大人たちのバンドフェスの開催
- ◇あなたが選ぶ1%応援事業の推進
- ◇地域まちづくり活性化事業の推進

★企業等による文化・芸術活動への支援

- ◇企業の文化・芸術活動や支援状況の情報収集と発信の仕組みづくり
- ◇企業の祭り・イベント等への参加促進
- ◇文化・芸術を活かした商品開発等についての支援のあり方の検討

★国や県、他都市との連携強化と情報収集、情報交換

- ◇関連会議等への参画や意見交換の場の設置

② 障がい者や高齢者の活動支援

文化・芸術活動を通じて、障がい者が住みなれた地域で生き生きと暮らせるように、施設関係者や大学等の取組の活発化を促進するとともに、市民と行政が一体となった支援のあり方を検討します。



＜大分国際車いすマラソン大会＞

また、関係機関との連携を強化しな

がら、国際車いすマラソン大会等の障がい者スポーツへの支援に取り組みます。

高齢者には、地域の老人クラブ等への支援等を通じ、文化・芸術活動への参加を促進するとともに、高齢者の作品展等の開催を広く市民にお知らせするため、その情報収集と発信の仕組みづくりを検討します。

＜主な施策・事業＞（資料7 2 ページ参照）

★障がい者への支援

- ◇障害福祉サービス事業所や大学等との連携による障がい者の文化・芸術活動への支援の仕組みづくりの検討
- ◇作品展等の情報収集と発信の仕組みづくり
- ◇国際車いすマラソン大会出場者への支援

★高齢者への支援

- ◇高齢者の作品展への参加促進
- ◇豊の国ねんりんピックへの参加促進
- ◇高齢者の作品展の開催に関する情報収集と発信の仕組みづくり

③ 市民協働による支援

活動団体等への市民の支援の広がりを促進するため、文化・芸術が、地域コミュニティの再生や青少年健全育成、企業活動、福祉、地域経済活性化など毎日の暮らしに深く関係していることについて啓発に取り組みます。

また、大分市美術館や大分市民図書館、祭り・イベントなどの運営に、市民がボランティアとして関わる機会を拡充します。

<主な施策・事業> (資料7 2ページ参照)

★市民による支援の広がり促進

- ◇文化・芸術の持つパワーや暮らしの中の役割を啓発
- ◇メンバー募集情報の収集と発信の仕組みづくり

★ボランティアの参加促進

- ◇文化・芸術関連施設におけるボランティアの育成と活用
- ◇本市や地域を代表する祭り・イベントにおけるボランティアの参加促進

✚ (4)つなぐ <<時間をつなぎ文化・芸術を次世代に伝え、

文化・芸術で人と人、都市と都市をつなぐ大分市>>

貴重な歴史遺産や文化財、地域に伝わる伝統文化、景観などを守り発展させ、次世代へ伝えることは、郷土を愛し誇りに思う気持ちを醸成するために重要です。

また、人と人との心をつなぎ、都市と都市との信頼をつなぐためには、文化・芸術が大きな役割を果たします。

① 時間をつなぐ

ア) 歴史遺産などの保護・保全

歴史遺産や文化財の保護や保全を積極的に推進し、郷土を愛する心や一体感の醸成に努めます。

このため、市内に点在する文化財を体系的に紹介する資料の整理やネットワーク化を図るとともに、現地標示板や案内解説板などの整備を計画的に進めながら、情報発信を行うとともに、身近な歴史遺産に関心を持ってもらうため、発掘調査中の史跡の現地説明会などを積極的に開催します。

特に、郷土の英傑大友宗麟公に関連する歴史や史跡については、市民の誇るべき歴史遺産として、総合的な施策の展開を図ります。

また、学校教育の場や「大分市民図書館」「大分市歴史資料館」「海部古墳資料館」などの活用を図るとともに、県立先哲史料館をはじめとする関係機関との連携を強化し、郷土の歴史や先哲の偉業の啓発に努めます。



<大分市民図書館>

さらに、本市の歴史や文化を感じることができる屋外彫刻を、中心市街地の整備にあわせ計画的に再配置します。

イ) 景観や食文化の継承

景観や食文化については、本市の豊かな自然の恵みを多くの市民に知ってもらうことで、郷土を誇りに思う心の醸成をめざします。

このため、日本風景街道「別府湾岸・国東半島海への道」を積極的に情報発信するとともに、その景観を活かしたイベント等の開催に努めます。

また、大分きれい100選事業の実施を通じ、身近にある素晴らしい景観の発掘と次世代へ守り伝える市民意識の高揚を促します。

また、食文化については、大分の味である郷土料理の継承を図るとともに、市内外からの誘客につながるブランド食材に関するイベント等を開催します。

<主な施策・事業> (資料73～74ページ参照)

★歴史遺産などの保護・保全

- ◇埋蔵文化財の適切な調査
- ◇文化財等の計画的な整備と保全
- ◇市内外への情報発信
- ◇現地案内板等の整備
- ◇現地説明会等の開催充実
- ◇大友氏関連遺跡の整備
- ◇おおいたのキリシタン・南蛮文化遺産活用・発信プロジェクトの推進
- ◇大分市歴史資料館、海部古墳資料館等の展示の充実
- ◇関係機関との連携強化
- ◇屋外彫刻の再配置の推進

★景観等の保存と継承、情報発信

- ◇日本風景街道「別府湾岸・国東半島海への道」の情報発信
- ◇大分きれい100選事業の推進

★食文化の継承

- ◇郷土料理講習会の開催
- ◇関あじ関さばまつりの開催
- ◇大分ふぐフェスタの開催

② 人と人をつなぐ、都市と都市をつなぐ

ア) 人と人との絆づくり

地域に暮らす多様な市民の相互理解を促進し、良好なコミュニティの形成や一体感の醸成などにつなげるために、地域における文化・芸術活動や発表の場となる公民館等の積極的な活用を促進します。

また、活動の場を広げたいと思う団体と、その活動を活かしたい団体を結び付けるための情報提供等の仕組みづくりを検討します。

さらに、祭り・イベント、歴史遺産、スポーツ、食文化など、地域の個性や特性を活かした市民活動や地域に根付いた企業活動を支援します。

イ) 都市間交流の充実

文化・芸術を通じた都市間交流を推進し、市民活動の活発化と質の向上を支援します。

こうした交流の進展は、それぞれの市民相互の親近感を高め、都市間におけるパートナーシップを構築する契機となります。



<宝塚市との音楽交流>

ウ) 国際交流の充実



<オースチン市アーティストによる学校訪問>

姉妹・友好都市との文化・芸術に関する交流の充実や、国際協力機構九州国際センター（JICA九州）^(※10) や国際交流推進団体等との連携を図りながら、国際感覚豊かな人材の育成と多文化共生社会の実現をめざします。

また、本市にしながら海外の文化にふれることのできる機会の充実に努めます。

<主な施策・事業> (資料74～75ページ参照)

★人と人との絆づくり

- ◇ご近所の底力再生事業の推進
- ◇地区公民館等の公共施設における文化・芸術関連の教室・講座、祭り・イベント等の開催
- ◇市民主体の文化・芸術関連イベントの開催支援
- ◇校区公民館が取り組むイベント等への事業費補助
- ◇文化・芸術活動の需要と供給をつなぐ仕組みづくりの検討
- ◇企業の文化・芸術活動や支援状況の情報収集と発信の仕組みづくり

★都市間交流の充実

- ◇都市間の文化・芸術交流の推進
- ◇観光文化姉妹都市の帯広市との交流推進
- ◇おおいたのキリシタン・南蛮文化遺産活用・発信プロジェクトなど近隣市町村との交流促進

★国際交流の充実

- ◇姉妹都市・友好都市のアベイロ市、武漢市、オースチン市との交流の推進
- ◇地球市民・夢アクティブ21助成事業による文化・芸術交流の促進
- ◇リトル・オースチン村の開催
- ◇おおいた国際協力啓発月間行事の実施
- ◇関係機関との連携強化